

# 肝円索から肝下大静脈周囲の構造に関する外科解剖学的研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年4月7日～2027年3月31日

## 〔研究課題〕

肝円索・門脈臍部・下大静脈周辺の構造に関する外科解剖学的研究

## 〔研究目的〕

胎児期の血液循環に関わる肝円索・門脈臍部・下大静脈の構造を、発生学的視点で詳しく調べます。  
特に肝円索～肝臓の外側の膜構造や靭帯の走り方に注目して解析を行います。

## 〔研究意義〕

近年、腹腔鏡手術の発展により肝臓の背面(背骨側)から下大静脈の深部が、腹腔鏡でよく観察できるようになりました。しかし、開腹手術ではその部位の詳しい構造が十分知られていない箇所があります。この研究で得られる新しい知見は、より正確で安全な腹腔鏡手術やロボット手術の開発につながります。

## 〔対象・研究方法〕

2025 および 2026 年度の医学部一年次の解剖学実習において、臍～肝円索～肝臓～下大静脈の部分について、以下の2点で観察を行います

- ①肉眼での観察(血管の構造や走行、周囲組織との関連性を見るために写真で記録します。)
- ②顕微鏡での観察(組織を採取して、その構造を詳しく調べます。)

## 〔研究機関名〕

研究代表機関

帝京大学医学部 解剖学講座

共同研究機関

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、個人を特定出来ないように加工致します。今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で発表することがありますが、個人を同定できるような情報を利用することはありません。データについては、保管を解剖学講座(竹田扇)のパスワード付きのパソコンを使用します。「帝京大学・帝京大学短期大学における研究データの保存等に関するガイドライン」に基づき、原則として、当該論文等の発表後10年間保存します。保存期間終了後、紙媒体は廃棄、電子媒体は消去します。

対象となる献体のご家族様で、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究代表者(研究責任者):氏名 竹田 扇 職名 帝京大学医学部解剖学講座 主任教授  
研究分担者: 氏名 有澤 謙二郎 職名 帝京大学医学部解剖学講座 講師  
所属: 帝京大学 医学部解剖学講座  
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)